

2025.10.17 講演資料



コンパクトシティー化で都市の魅力向上

COMPACT CITY TOYAMA

- ▶ 1部 富山市 の「コンパクトなまちづくり」とは
- ▶ 2部 官民連携プラットフォーム(一社)トヤマチミライ
- ▶ 3部 データを活用した「まちの分析」

富山市まちづくり推進課 主幹 佐伯哲弥



COMPACT CITY TOYAMA 富山まちなかプロレス



2025. 9. 28
旗揚げ



COMPACT CITY TOYAMA 世界一のますずし制作



世界で唯一
世界で一番

巨大なますずしを完成させる参加者 富山駅

できた！世界最大ますずし 富

すしを通して富山の知名度拡大や来訪者増加を目指すイベント「富山寿司すきフェスタ」が23日、富山駅南北自由通路で開かれた。「世界で一番大きな」と銘打ったますずし作りには、大人から子どもまで県内外の約240人が参加。県や富山市がすしの街を発信する中、日付にちなんで直径3.23メートルもある巨大な富山の名産を完成させ、観光客らの目を引いた。

同駅周辺の活性化に取り

直径
3.23
トメー
240
人参加

組む一般社団法人「トヤマチミライ」（水田整代表理事）が、駅の南北接続を記念したイベントの一環として企画した。

ますずしは酢飯約100*、マス約50*、ササ約900枚を使用。参加者は12グループに分かれ、富山ますずし協同組合に加盟する職人の指導を受けながら、約1時間かけて三角形の木枠に材料を敷き詰めた。ふたをして約20分間押し、最後に12個を円形に組み合わせると

拍手が起こった。

完成品は参加者が会場で味わった。氷見市の公務員、小川大輝さん(35)は「出来たてはふわふわでおいしい。楽しい思い出になり、参加して良かった」と話し、息子の琳太郎ちゃん(6)は「材料を置くのが楽しかった」と笑顔を見せた。

水田代表理事は「満足度や注目度の高いイベントとなり、富山イコールすしを発信することができた」と話した。



日本海側最大級 コスプレイベント





EN COS JAPAN 2024

藤井市長 トヤマチミライ代表



富山市のまちづくりの基本方針

COMPACT CITY TOYAMA

- 公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを展開
- 公共交通の便利な地域に居住する人口を2025年までに42%とする目標設定

【お団子と串の都市構造の概念図】



【施策の3本柱】

1 公共交通の活性化



■ 富山ライトレール (H18)



■ 市内電車環状線 (H21)

2 公共交通沿線地区への居住誘導

○事業者向けの住宅・宅地の供給支援 (ハード)

- ・ 共同住宅の建設費
- ・ 宅地整備への補助

○市民向けの住み替え支援 (ソフト)

- ・ 戸建て住宅または共同住宅の購入費等の借入金に対する補助
- ・ 都心地区への転居に対する家賃補助

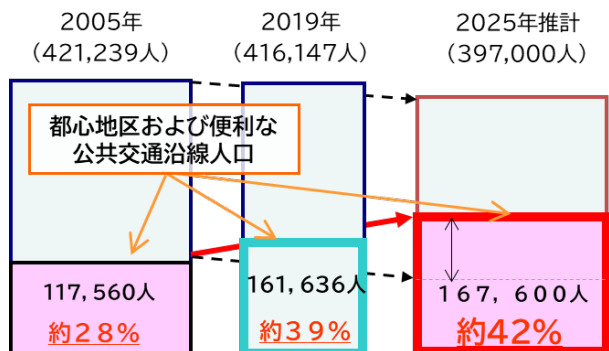
3 中心市街地の活性化



■ グランドプラザ (H18)



■ トランジットモール社会実験 (H27)



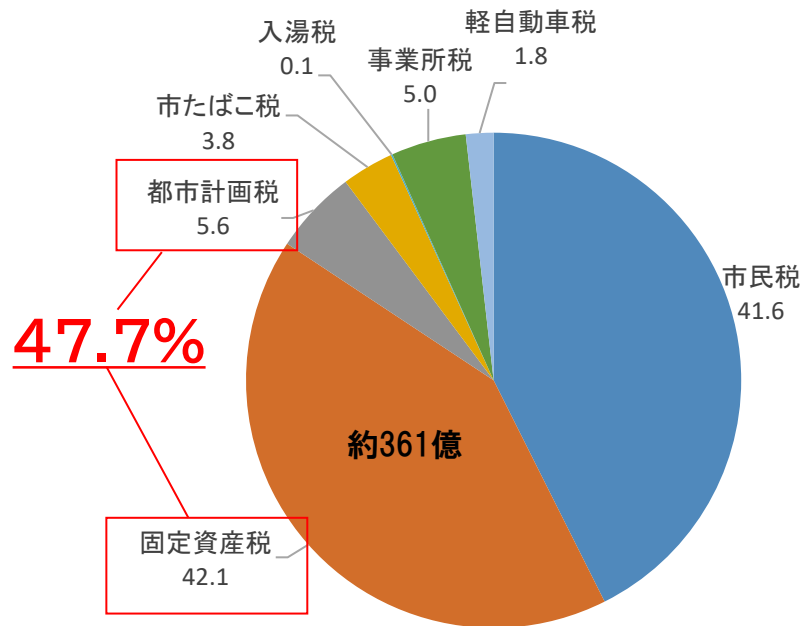
▲ 公共交通の便利な地域に居住する人口の割合

財政面から見た中心市街地活性化の意義

COMPACT CITY TOYAMA

富山市における市税の内訳 (令和6年度当初予算)

【市税:約756億円】



固定資産税・都市計画税の 地域別内訳(令和6年度)

	面積比	固定資産税＋都市計画税
市街化区域	5.8%	76.1%
うち中心市街地	0.4%	22.8%
上記以外	94.2%	23.9%

約275億

**中心市街地への集中的な投資は、
税の還流という観点からも合理的で
あり効果的**

自己紹介

COMPACT CITY TOYAMA



佐伯 哲弥

活力都市創造部 まちづくり推進課

富山市出身 47歳 行政職 現在25年目

3児の父 趣味: バスケ、カヌー、アウトドア全般

市役所 No.1のバスケフリーク(一応現役)USA代表を率いた
コーチKに会うため渡米しアメリカ大陸を横断。

富山で更なるバスケカルチャーを生み出すため日々奮闘中。

業務経歴

- ・2001年 富山市役所入庁
教育委員会体育課 (日韓ワールドカップ・世界水泳選手権代表合宿)
- ・富山ライトレール(株)、(株)まちづくりとやま 出向 (ライトレール開業、エコリンク新規企画)
- ・内閣官房地域活性化統合事務局・内閣府地方創生推進室 出向
- ・都市政策課 景観都市デザイン (日本初本格トランジットモール開催)
- ・広報課 シティプロモーション、シビックプライド醸成事業
- ・中心市街地活性化推進課 中心市街地活性化基本計画、賑わい創出DX事業など
京都大学と政策効果検証政策立案に向けた調査を実施
- ・まちづくり推進課 官民連携推進事業、AIカメラスマートプランニング事業、トランジットモール事業

出先や出向
多いです！

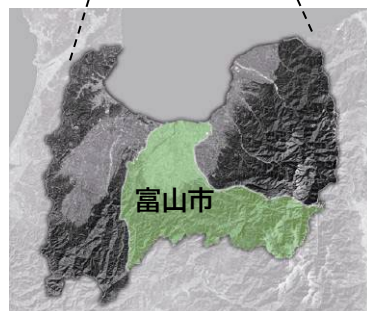


「富山」ってどんなところ？ ～地域特性～

COMPACT CITY TOYAMA

- 富山湾－1,200mから北アルプス立山連峰3,000mまで多様な自然環境
- 急峻な山岳の麓に平野が広がり、人口の8割が平坦な土地に居住
- 豊富な水資源を背景に第2次産業(医薬品、機械、金属等)と稲作農業が中心の産業県
- 富山市人口 約42万人(県の約4割) (参考:品川区40万人、町田市43万人)
- 富山市面積 約1200km²(県の約3割) (参考:東京都:2,200km²、東京23区630km²)

▼日本地図

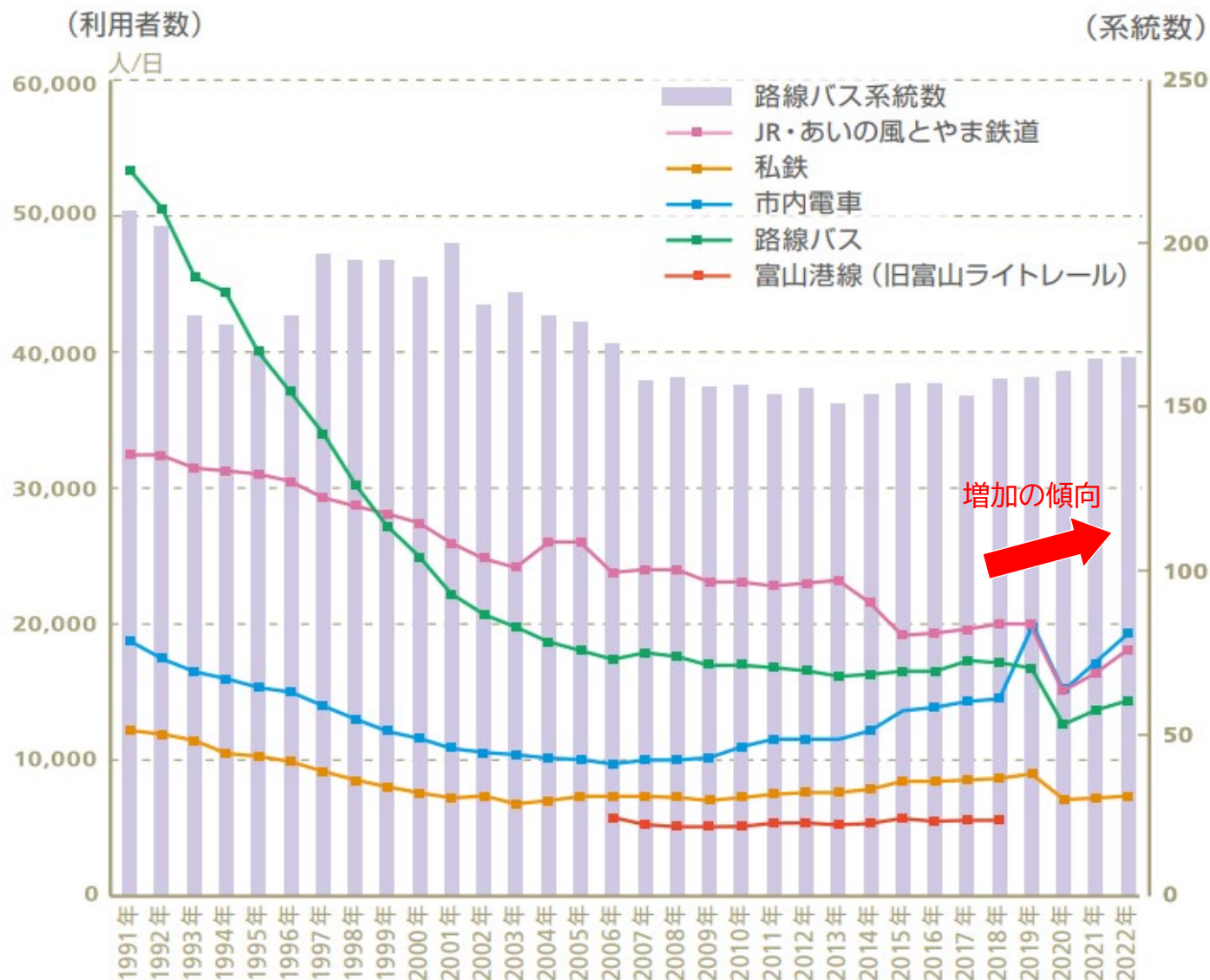


▲ 富山県全図



▲ 富山駅上空からみた富山市の市街地(富山平野)

●公共交通の利用者数の推移



世帯あたりの乗用車保有台数 (出典: (財)自動車)

ランク	県名	保有台数
1.	福井県	1,749台
2.	富山県	1,702台
3.	山形県	1,680台
4.	群馬県	1,643台
5.	栃木県	1,619台
6.	茨城県	1,602台
7.	岐阜県	1,594台
8.	長野県	1,585台
9.	福島県	1,564台
10.	新潟県	1,554台
11.	山梨県	1,546台
12.	佐賀県	1,521台
全国平均		10,620台

⇒過度な自動車依存は、公共交通の衰退を招き、路線バスなど身近な公共交通機関ほど利用者が大幅に減少

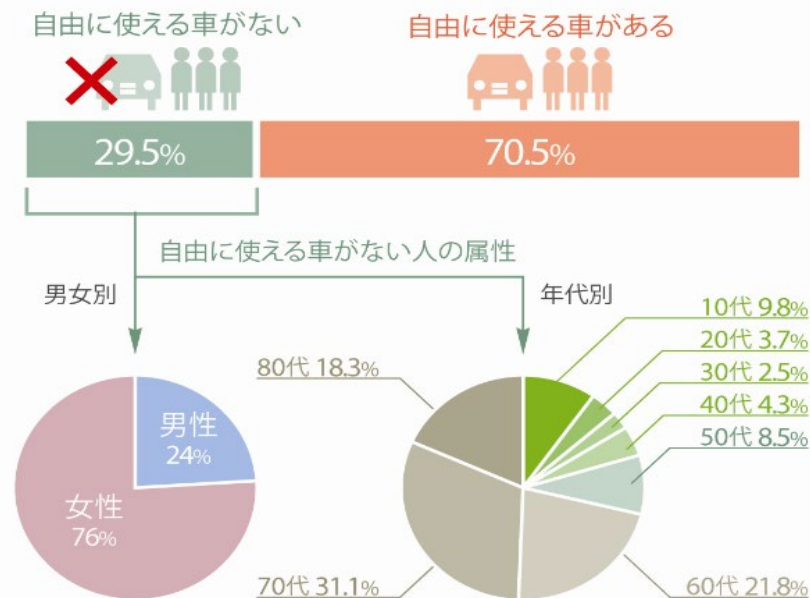
■過度な自動車依存の弊害

- ・車を自由に使えない人は市民の**約3割**
(女性が8割、60代以上の高齢者が7割を占める)

⇒「車を自由に使えない人」にとって
極めて生活しづらい街

車を自由に使えない人の実態

(出典：平成18年富山市の公共交通に関する意識調査)



※「自由に使える車がない人」とは、運転免許証がない人、自分専用の車がない人を指す。

■市街地の拡大と低密度化

- ・県庁所在都市では全国で最も低密度な市街地

⇒ごみ収集や除雪等**都市管理コストの上昇**、**中心市街地の衰退**

市街地の面積の拡大と人口密度の推移

(出典：国勢調査)



まちづくりの背景

COMPACT CITY TOYAMA

■富山市を取り巻く課題

(1) 人口減少と超高齢社会

(5) CO₂排出量の増大

(2) 過度な自動車依存による
公共交通の衰退

(6) 市町村合併による
類似公共施設

(3) 中心市街地の魅力喪失

(7) 社会資本の
適切な維持管理

(4) 割高な都市管理の
行政コスト

(8) 平均寿命と健康寿命の
乖離

この課題を誰と解決する??

富山ライトレールの整備 ～JR富山港線のLRT化～

COMPACT CITY TOYAMA

-13-

利用者の減少が続いていたJR富山港線(鉄道)を
公設民営の考え方を導入し、**日本初の本格的LRT**
システムに蘇らせた取り組み

<路線概要>

- 開業日：平成18年4月29日
- 延業長：7.6km
(鉄道区間6.5km、軌道区間1.1km)
- 電停数：13
- 車両数：7編成(2両1編成)
- 所要時間：約25分(富山駅北ー岩瀬浜)

<運行サービスの向上等>

運行間隔の改善、新駅の設置、低床車両の導入、
バリアフリー化、ICカードの採用、アテンダントの配置 等

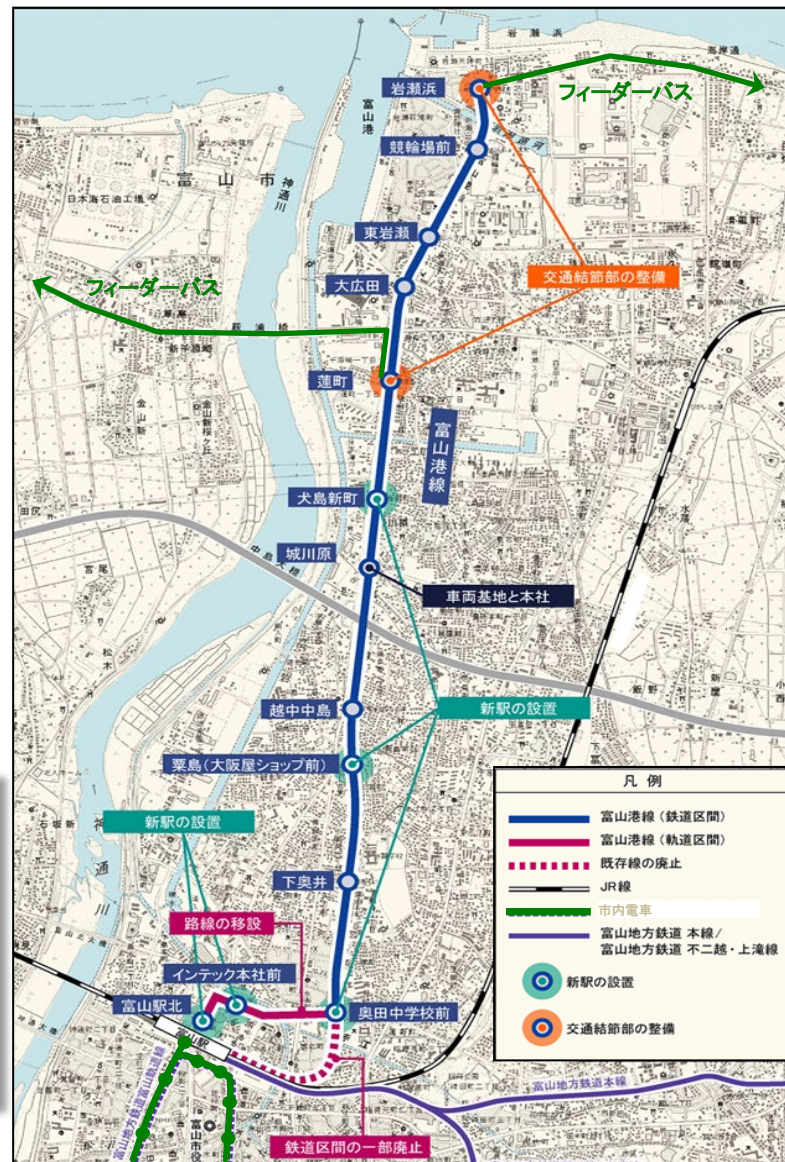
日本初の本格的LRTとして再生



▲旧JR富山港線



▲富山ライトレール
(愛称ポートラム)



富山ライトレールの整備 ～整備概要～

COMPACT CITY TOYAMA

■ 運行サービスの向上

	旧JR富山港線		地鉄・富山港線 (旧富山ライトレール)
■ 運行間隔	30 ～ 60 分	→	15 分 (ラッシュ時は 10 分)
■ 始発・終電	5 時台・21 時台	→	5 時台・23 時台
■ 駅数	9 駅 (富山駅除く)	→	10 駅、3 停留場 (現在は 5 停留場)
■ 車両	鉄道車両	→	全低床車両

運賃は 200 円均一制に

※令和元年 10 月、消費税率改定に伴い
210 円均一に変更

■ 車両の低床化と 停留場のバリアフリー化



■ アテンダントの配置(H22.8～H30.3)



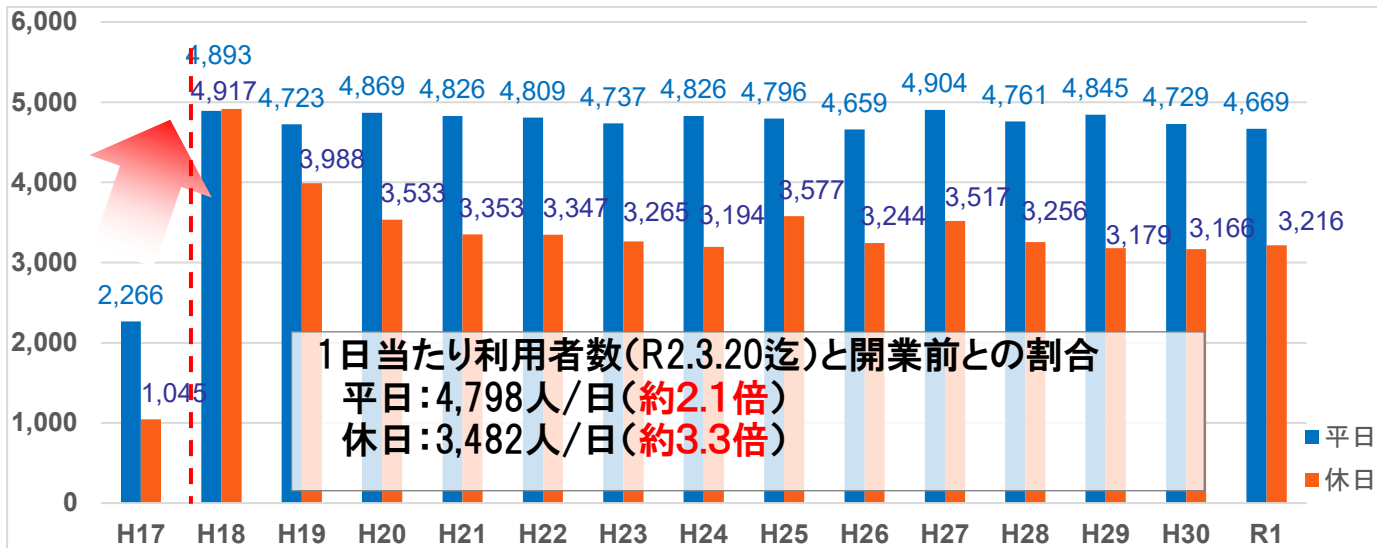
■ フィーダーバスの運行



富山ライトレールの整備 ～整備効果～

COMPACT CITY TOYAMA

■開業前と比較して、利用者数が 平日で約2.1倍、休日で約3.3倍へと大幅に増加

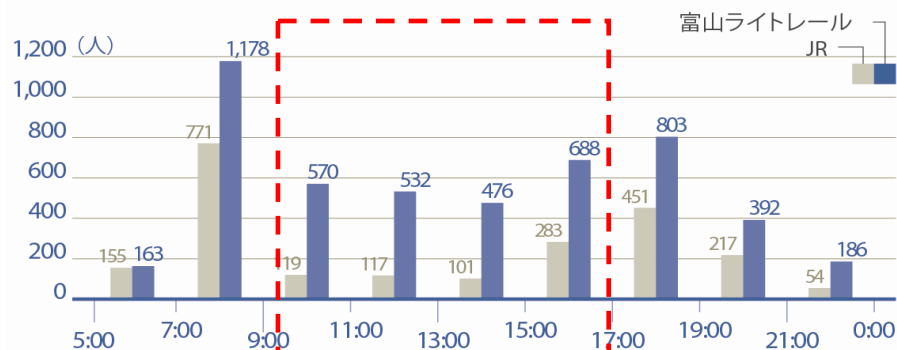


※R1は、南北接続前(R2.3.20)までの数値

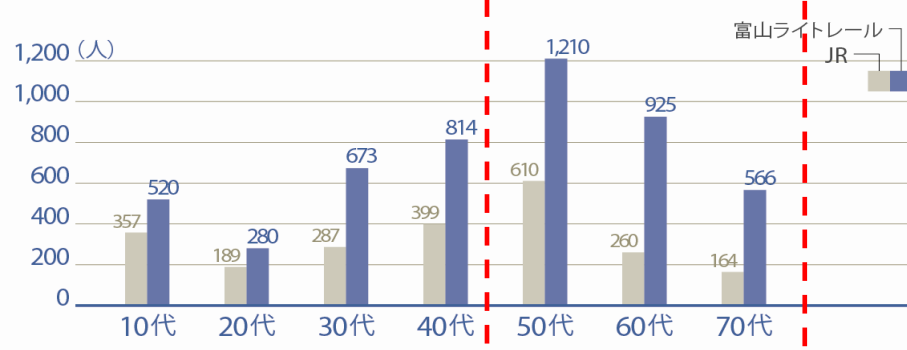


■日中の高齢者の利用が増加(ライフスタイルの変化)

1日あたり 時間帯別の利用者数の変化(平日)



1日あたり 年代別の利用者数の変化(平日)



公共交通の活性化 ～環状線化事業・南北接続事業～

COMPACT CITY TOYAMA

16

■路面電車環状線化

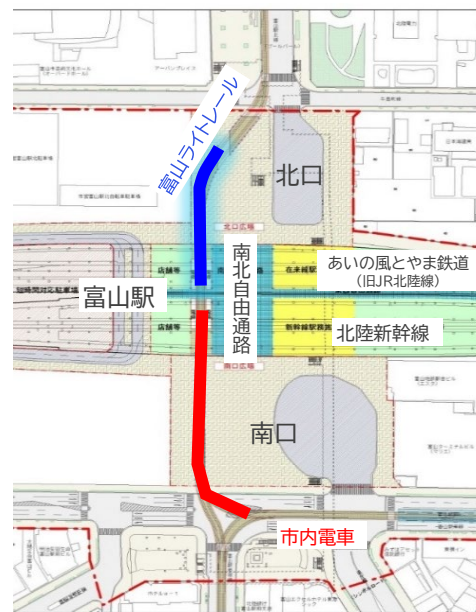
- ・富山駅と中心市街地の**回遊性強化**を目的に軌道を新たに敷設。日本初の上下分離方式採用。
- ・景観に配慮した一体的な道路空間も整備。

上下分離方式 → 公共(市)が車両・資産を保有・民間が運行



■路面電車南北接続事業

- ・北陸新幹線開業を契機に、南側の市内電車と北側の富山ライトレールを**富山駅高架下で接続**。
- ・歩行者用の**南北自由通路**も一体的に整備。
- ・**南北一体的なLRTネットワーク**の実現とともに、鉄道開業以来100年続いた**市街地の分断が解消**。



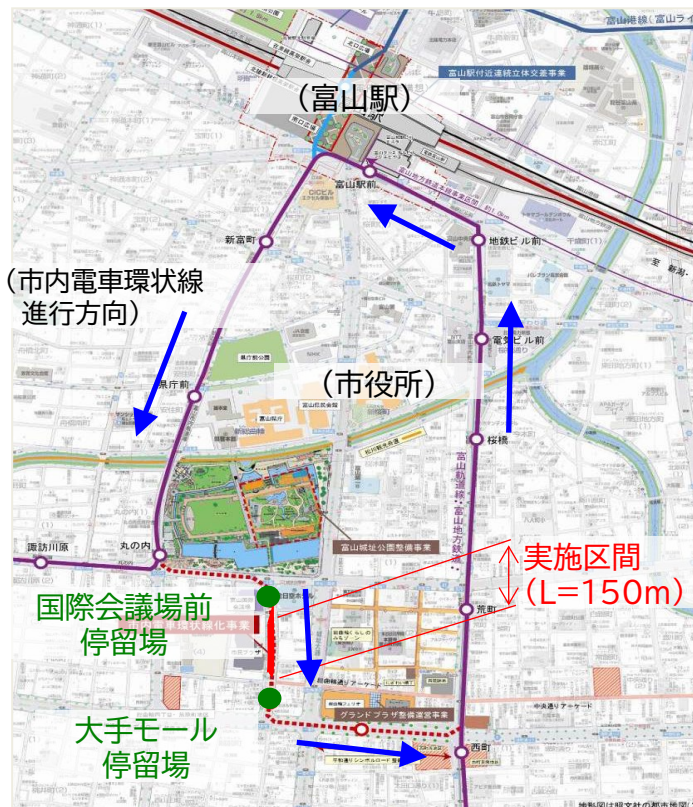
トランジットモール社会実験 ～環状線区間の一部を活用～

COMPACT CITY TOYAMA

道路空間を活用した賑わい創出を目的として、越中大手市場等と連携し、
多様なイベントを実施するトランジットモール社会実験を実施

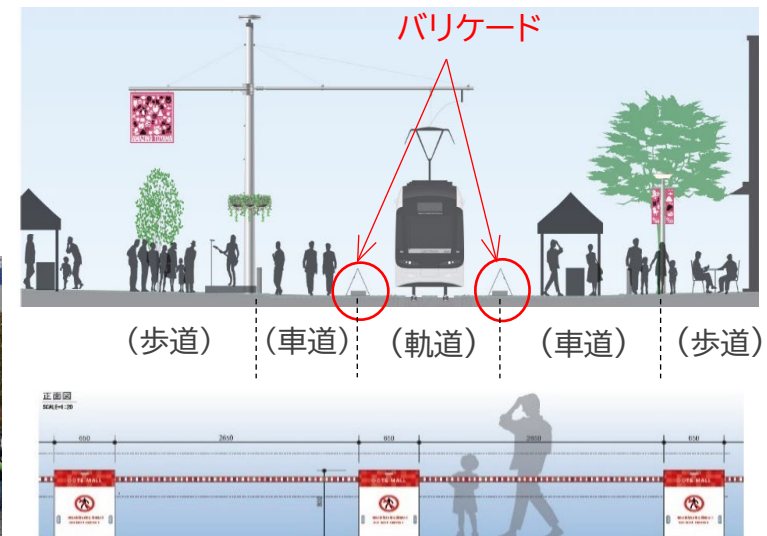
<実施概要>

場所:市道大手線(延長約150m)
※愛称「大手モール」



<路面電車運行概要>

- ・市内電車環状線が10分間隔で運行
- ・全便を低床車両で運行



<安全対策概要>

- ・バリケードを約3m間隔で配置
※横断防止機能、デザイン性の両面を配慮
- ・横断箇所を設置し、誘導員を配置

歩行者通行量
(富山市民プラザ前)

過去7回の実績
(通常時との比率)

約 4.7～10.2 倍

トランジットモール社会実験 ～環状線区間の一部を活用～

COMPACT CITY TOYAMA



民主導での開催に変化 (2025.09.28)



プロレス、手品、富大生の店… 路面電車の街多様に

1万人超 路上を満喫

富山トランジットモール×越中大手市場



多彩な店が並び、多くの人でにぎわうトランジットモール—富山市の大手モール

秋晴れの下にぎやか

富山市中区大手トールで28日、歩行者と路面電車のみで通行できる「富山トランジットモール」が、越中大手市場と連携して開催された。秋晴れの下、家族連れや観光客、学生などが、多彩な店や飲食や雑貨などの買い物を、プロレスや車の展示などの楽しみながら楽しんだ。



富山プロレスの選手

富山新聞

2025年(令和7年)
9月29日(月)
富山新聞社
〒930-0855 富山県富山市富山町1-1-1
電話 076-422-1111
FAX 076-422-1112
http://www.fukushima.co.jp
/fukushima



公共交通の活性化 ～ソフト面の施策～

COMPACT CITY TOYAMA

■おでかけ定期券

- ・交通事業者と連携し、65歳以上の**高齢者を対象**に市内各地から中心市街地へ出かける際の公共交通**利用料金を1回100円**に割引。
- ・65歳以上の市民の1/4が利用。



高齢者の外出機会の創出、中心市街地の活性化、公共交通の維持・活性化、外出による健康増進など幅広く好影響を及ぼす

■孫とおでかけ支援事業

- ・祖父母が孫と市内の公共施設に来館すると入館料が無料に。

孫とおでかけ支援事業

通常の村おじいちゃん・おばあちゃん館と対称施設を設けると、入館料などが無料になる取り組みを、13市町村が連携して行っている。



■とやま花Tram・花Busキャンペーン

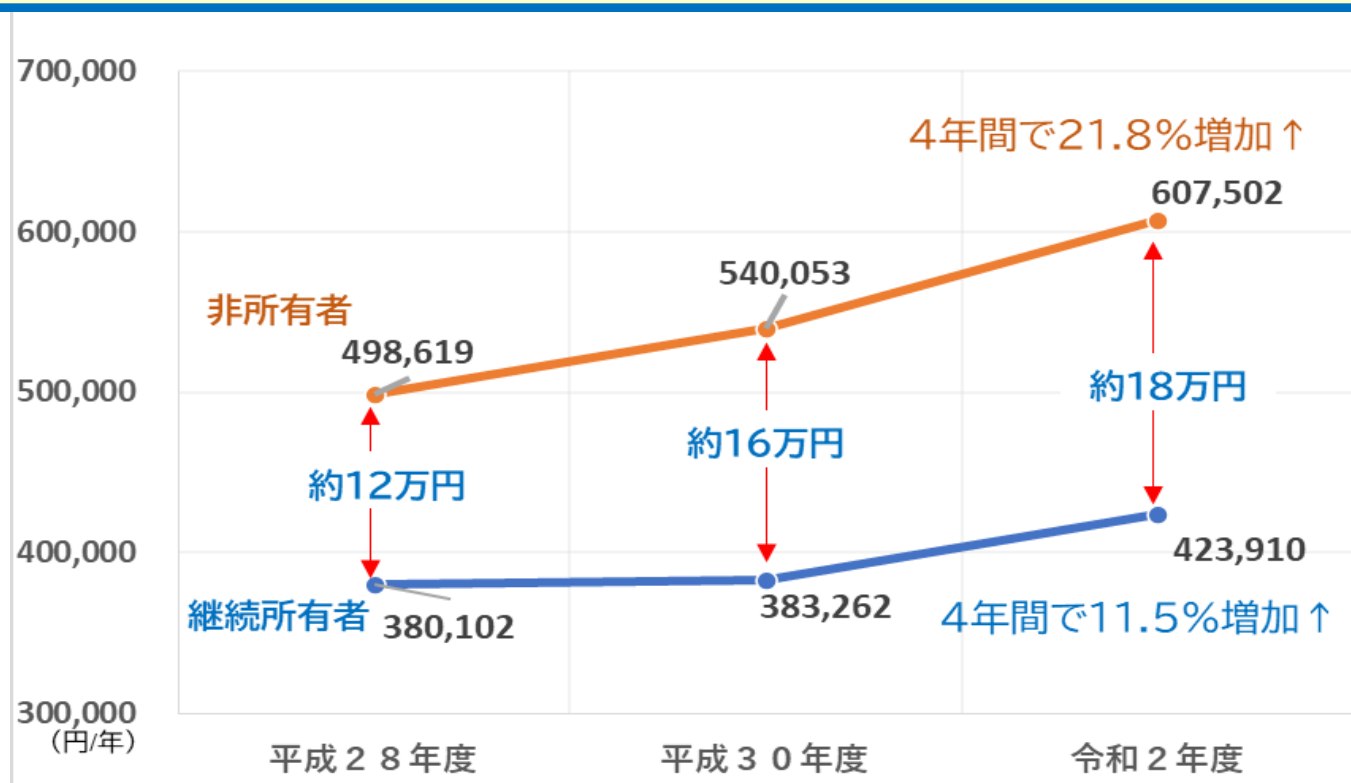
- ・花束等を購入で、路面電車やバスの乗車が無料に。
- 豊かな都市空間の演出、花卉の生産者を支援。



■高齢者行動調査

「おでかけ定期券」の所有別医療費

- ・ H28年からR4年にかけて、「おでかけ定期券」を継続して所有していた人は所有していなかった人よりも**医療費が少なく、増加割合も低い**。



- 健康づくりとまちづくりが融合した『歩くライフスタイル』への転換を促し、まちの賑わいやひと・地域との繋がりを育む、持続可能なまちを目指す

とほ活
富 歩 活
Smart Life & Smart Walk

歩く生活がもたらす様々な“富”で
豊かな生活を送る新たなライフスタイルへ

市民にとっての富

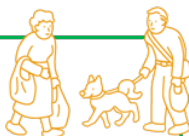
3 すべての人に
健康と福祉を

健康



歩くことで、心も身体も元気になります。
無理なく歩くだけで、
1歩あたり、0.072円※
の医療費削減効果があると
言われています。

出会い



歩く機会が増えると、
出会う人も増えます。
たくさんの人とコ
ミュニケーションをと
ることで、毎日が楽し
く充実したものになり
ます。

まち



歩く人が増えると、
まちが賑わいます。
賑わっているまちに
家族や友達と出掛け
ると、ただ歩くだけで
楽しい気分になりま
す。

公共交通



公共交通を使い、歩
くことで、いつもとは
違う景色を楽しむこと
ができます。
外出先でお酒を楽し
むこともできます。

※まちづくりにおける健康増進効果を把握するための歩行量(歩数)調査のガイドライン(国土交通省)

スマートフォンアプリ「とほ活」～R1.11.1リリース～

23

COMPACT CITY TOYAMA

- 歩く行動に対する**楽しみやインセンティブを提供**するスマホアプリを開発
- 市民の行動変化を起こす**きっかけづくり**を支援



まちづくりに寄与する
一連の歩く行動

① 歩数でポイント

スマートフォンアプリと連動し、毎日の歩数を計測。
歩数に応じてポイントを取得できます。
◆1,000歩 → 8pt (1日上限:80pt)



歩数計機能

② 公共交通利用でポイント

駅改札や市内電車、バス車両内に設置されたビーコンからの電波を検知して、ポイントを取得できます。
◆1回/日 → 5pt (週1回利用ボーナス:50pt)



③ イベント参加でポイント

まちなかでの催しやウォーキングイベントなどの会場に設置されたQRコードを読み込んで、ポイント取得。
◆イベント会場ごとに1回/日 → 最大100pt



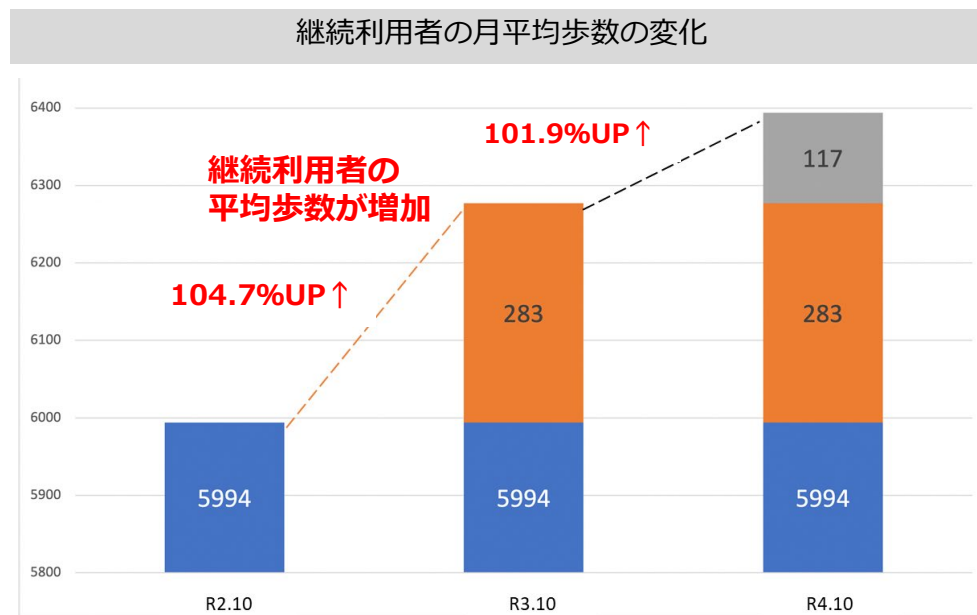
貯めたポイントを使って**商品への抽選応募**が可能。
賞品は市内リゾート施設の宿泊券や健康関連製品、
地元百貨店の商品券、地場産品、スポーツ観戦券など。



(1) 継続利用者の平均歩数

- R2年から継続利用者の平均歩数は**106.7%増加**している。
(平均5,994歩⇒平均6,394歩)

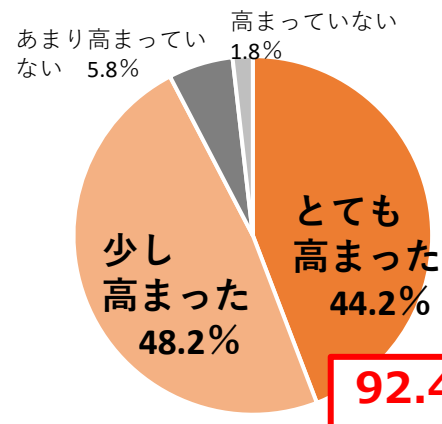
※過去3年利用継続ユーザーのみ抽出
前年度より300%アップ以上となっているユーザーを異常値として除いて集計



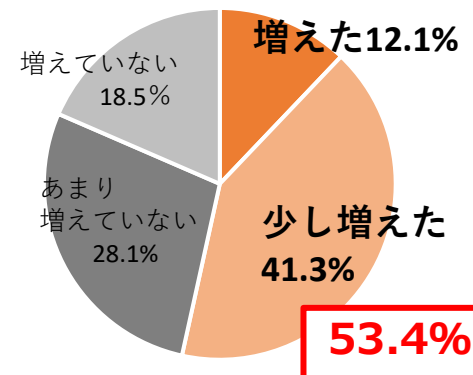
(2) 歩く意識・コミュニケーション

- アプリ利用者のうち、約9割の方が「歩くこと」への関心が高まったと回答
- コミュニケーションの機会が増えたと半数以上の方が回答

歩くことへの関心が高まりましたか？



家族や友人等とコミュニケーションの機会が増えましたか？



AIカメラ等によるスマートプランニング事業

COMPACT CITY TOYAMA

■令和4年度に親水広場から富山駅周辺、中心商店街など、
28か所52台のAIカメラを設置

《目的》

- ・ 中心市街地活性化施策等の効果検証
- ・ 新規政策立案の基礎資料
- ・ 民間事業者の利活用

AIカメラ(ドーム型)



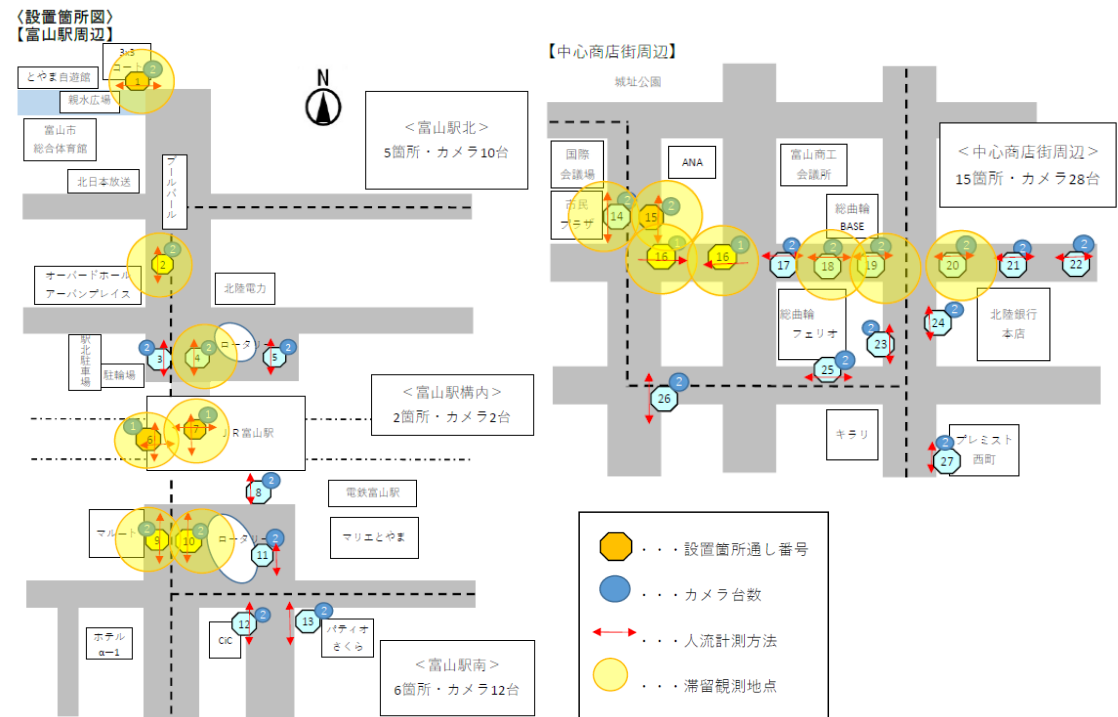
- ①親水広場
- ②アーバンプレイス前
- ③富山駅北口（西側）
- ④富山駅北口（中央）
- ⑤富山駅北口（東側）

- ⑥富山駅構内(南側)
- ⑦富山駅構内（南北自由通路東西交差エリア）
- ⑧富山駅地下道南口
- ⑨富山駅南口ロータリー西側（マルト前）
- ⑩富山駅南口ロータリー西側（ロータリー横）

- ⑪マリエ富山西側
- ⑫CiCビル東側
- ⑬パティオさくら
- ⑭市民プラザ前（東西歩道前）
- ⑮NPC駐車場前
- ⑯ユウタウン総曲輪駐車場入口前
- ⑰総曲輪フェリオ北西側
- ⑱エルサカエ前

- ⑲SOGAWA BASE（旧富山西武）南側
- ⑳中央通り西口
- ㉑北陸銀行本店北側
- ㉒旧P.O.BOX前
- ㉓マツイ電器店前

- ㉔旧メンズトゥモローパートⅡ前
- ㉕インフェイズ前
- ㉖千石町通り商店街北側入口
- ㉗まちなかミニ工房前



COMPACT CITY TOYAMA 富山駅周辺のエリアマネジメント

未来をつくるSDGsマガジン

ソトコト



特集 | 地域×JR西日本の「地域共生」のかたち。| 2

「つなぐ、むすぶ」ネットワークが、富山駅前に”賑わい”を生み出す。【地域×JR西日本の「地域共生」のかたち。〔第2回 富山県編〕】



富山駅の南北連携

にぎわい「つなぎ役」に

市と企業が新団体設立

富山駅周辺のにぎわい創出に向け、富山市と民間企業12社が3日、新団体「トヤマミライ ユナイテッド」を設立した。駅の南北で活動する団体の「つなぎ役」として連携を促し、イベント情報を集約して効果的な発信や来場者の回遊につなげる。駅周辺でのクラブ活動や路上パフォーマンスを後押しする仕組みもつくり、市民や企業、団体の取り組みを支援する。

市民の活動後押し
マリエとやま内の県民小劇場オルビスで設立総会が開かれ、会長に富山ターミナルビルの水田整社長を選んだ。同社と市、駅周辺企業のオックス、トヨタモビリティ富山、北陸電力、鉄道事業者などが幹事会員と

なり、企業や自治体などを一般会員、個人をパートナー会員として募集し、会費を事業に役立てる。今年度は駅周辺のイベントなどの情報を一元化したポータルサイトを開設する。会員間でも情報共有し、南北で似たようなイベントの重複を避け、相乗効果が

富山駅周辺のにぎわい創出に向け、新団体の活動を協議した会合＝富山市内

見込める企画を考案しやすくなる。市が管理する駅前の広場などを使うための手続をユニイテッドが担い、事業者の負担を軽減させる。社会人らが駅周辺を拠点としてスポーツや音楽などのクラブ活動を楽しめるよう、幹事会員の施設を活動場所として提供することを検討。路上での弾き語りやダンスといった活動も奨励し、市民が駅周辺を活用しやすい仕組みを整える方針とした。

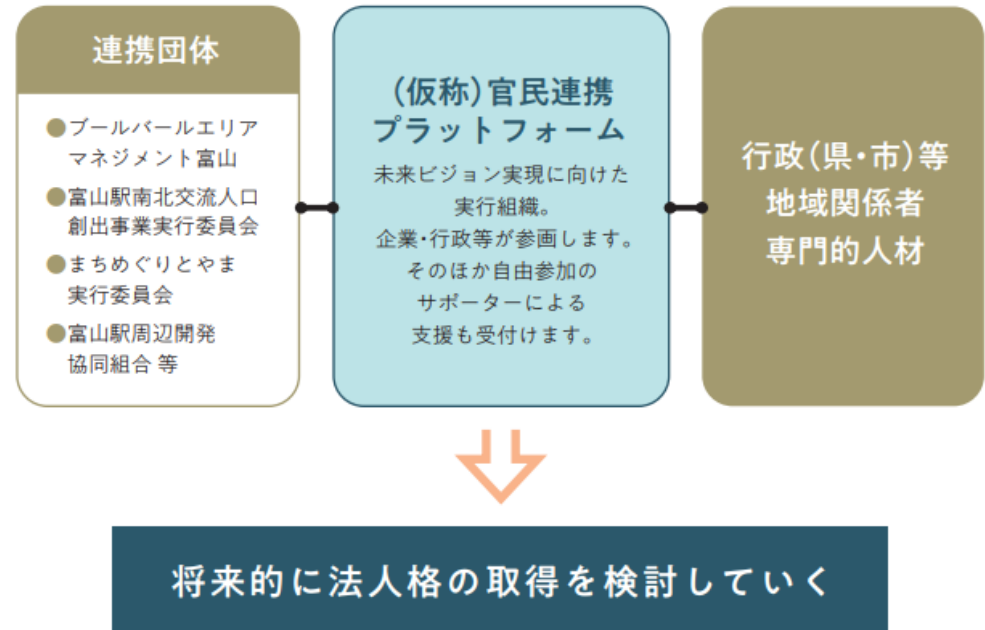
市が設置したA-1カメラを活用し、人の流れの変化も検証する。年度内の一般社団法人化を目指す。市は駅の南北自由通路の開通や路面電車の南北接続を経て、2021年に駅周辺の事業者と協議会「富山駅南北一体的なまちづくりプラットフォーム」を設立。今年3月に未来ビジョン「トヤマミライ」を策定した。新団体はビジョンに基づき設立された。

水田会長は、駅南北は長らく分断された状態だったとし「全体として一つになる土壌をつくっていく」と話した。

(1) 多様なプレイヤーが連携できるプラットフォームづくり

富山駅周辺エリアに関係する多様なプレイヤーが相互に連携して、それぞれが主体的かつ持続的にまちづくりに関与する体制をつくります。

(仮称)官民連携プラットフォームを設立し、各団体のつなぎ役としての役割を担い、富山駅周辺エリアへの関わり方をアシストするとともに、多様なプレイヤーが連携しながらビジョン実現に向けた事業を展開し、会議の場等で情報を共有しながら進め、エリア全体のにぎわい創出や魅力向上を目指します。



一般社団法人トヤマチミライの設立と活動

ビジョンの実現や活動拡大を見据え、体制や信用をより強固なものとするために、任意団体「トヤマチ∞ミライ ユナイテッド」を法人化し、「一般社団法人トヤマチミライ」を設立。

【設立時社員（全8名）】

オークス株式会社／北日本放送株式会社／富山駅前開発株式会社／富山市／富山ターミナルビル株式会社／トヨタモビリティ富山株式会社／西日本旅客鉄道株式会社／北電産業株式会社
※現在の会員数 全27名（正会員 11社／特別正会員 4社／一般会員 11社／パートナー会員 1名）



駅周辺活性化へ
一般社団法人設立
トヤマチミライ
富山駅周辺の活性化を旨とする「一般社団法人トヤマチミライ」（富山市桜町）が9日に設立された。2023年設立の任意団体「トヤマチ∞ミライ ユナイテッド」を法人化したもので、代表理事に富山ターミナルビル社長の水田肇氏が就任した。

「トヤマチミライ」は、駅周辺の企業・団体が策定したビジョンを基に、にぎわい創出に向けた活動を繰り広げてきた。法人格を備えることで、体制を強化し、対外的信用を高める。設立時社員として、オークス・トヨタモビリティ富山・JR西日本など、7社と富山市が名を連ねた。

2024.5.9	一般社団法人トヤマチミライ設立
2024.5.23	第12回あおぞら会議
2024.5.25-5.26	第11回BOOK DAY とやま
2024.6.15	BOOK DAY とやま駅
2024.6.20	第13回あおぞら会議
2024.7.6	トヤマチ夏祭り 前夜祭
2024.7.7	トヤマチ夏祭り
2024.7.6-7.7	レコードデイ
2024.7.9	新桜町△（サンカク）まつり
2024.7.18	第14回あおぞら会議
2024.8.2	パブリックビューイング 男子バスケット日本代表戦
2024.8.15	BOOK DAY とやま駅
2024.8.19	第15回あおぞら会議
2024.8.31-9.1	EN COS JAPAN 2024 inToyama

トヤマチ∞ミライの活動について



未来ビジョン/ロゴの発表

2023年3月19日(日)にイベント「つながるWeekend+」内で今後の街づくりの方針を示すトヤマチ∞ミライ未来ビジョンとロゴを発表。



トヤマチ∞ミライ

×KNBサマーフェスティバル

2023年7月2日(日)に組織として官民連携イベントを実施。幹事会員のイベントを中心として企画や実際の運営の調整を行った。



トヤマチ∞ミライ

×まちめぐりとやま

2023年11月3日(金・祝)～5日(日)は発足後初のイベントとして富山市の子ども支援活動の紹介や会員企業の有料施設の無料開放、マルシェ、ゲームエリアなどで賑わいを創出。



『トヤマチ∞ミライ ユナイテッド』の設立

2023年8月3日(木)に、未来ビジョンに基づき、制定メンバーに加え、駅周辺の重要なステークホルダーの計13団体を幹事会員として設立。



官民連携イベント企画

富山駅を中心としたイベントをより盛り上げるために、イベントへの協力、共同開催などを行う。イベント内では組織の紹介やPR等も。



令和6年度の活動記録



BOOK DAY とやま BOOK DAY とやま駅

県内外約30店舗の古本屋が集合、北陸最大級の古本市を開催。トークショーやDJパフォーマンス、レコードやZINEの販売も。ミニ版として、富山駅構内で定期的(隔月)に本の魅力を伝える古本市を開催。



新桜町△まつり

NHK新社屋前にある新桜町公園の利活用を目的とした社会実験イベントを開催。周辺エリアの飲食店のプレイヤーを発掘し、地域の新たな賑わい創出を試みた。



トヤマチ夏祭り 前夜祭 (KNBサマーフェスティバル前夜祭)

南北自由通路に会場を設置し、まちづくりに携わる関係者や駅利用者と中心部の賑わい創出を考えるフォーラムを開催。



パブリックビューイング 男子バスケット日本代表戦

富山市中ホールとオープンしたばかりのDタワー富山の間にある「キャニオンストリート」にて、日本代表戦のパブリックビューイングを開催。



トヤマチ夏祭り (KNBサマーフェスティバル連携)

KNBサマーフェスティバルに連携して、ブルバールエリアと駅の南北を一体的に活用するため、3x3コートを活用など、駅周辺エリア各所にてイベントを開催。約3万人がイベントに会場。



EN COS JAPAN 2024 (予定)

富山駅周辺の施設や景観など、街並みを活用して写真を撮ってもらうコスプレイベント。国交省の補助金を活用し、一般社団法人の完全な自主企画として開催。



データを活用した富山のまちづくり ～ 人流データから生まれる活動 ～

人流データについて学ぶ





本年度、目指したいこと

人の流れを知り、

富山の未来を描き出す。

行政、企業、地域、学生…

世代を超えた想いや知恵とデータが交わる

「共創の場づくり」を目指す。

未来ビジョン:トヤマチミライ【概要】



トヤマチミライ

まざる

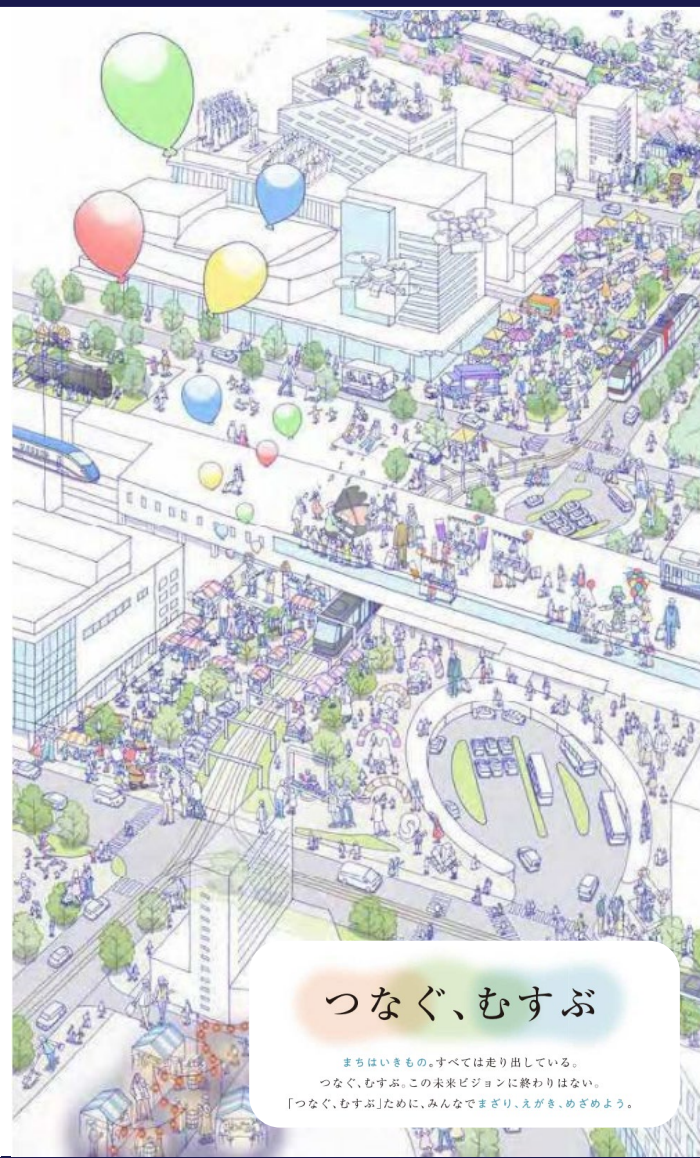
- エリアで活動する人と人、団体、関係者がつながり、まざる。情報、気持ち、協働。
- 南から北まで各エリアをシームレスにつなぐ。すき間をつなぎ、そして回遊性を高める。
- エリアの様々なコトをIoTも活用しつつ、一元的に集約発信。市民、来街者とのまじわり。

えがく

- 各エリアの特性に応じ、賑わいと居心地を両立する「ゆるやかな」街並みデザイン。
- スポーツ、芸術文化、エンタメなどこのエリアならではのアクティビティ育成。
- 全体をウォークアブルに、さらに先進の交通連携・MAASやスマートモビリティの実験場に。

めざめる

- 民(民間事業者)と民(市民・住民・参画者)と官(行政)との連携の自覚。
- このエリアでの新たな参画者との懸け橋としての自覚。出店者、参画者、活動者を増やす啓発や相談窓口。
- 富山の玄関口を担う自覚。中心市街地・郊外・中山間地を含めた連携。北陸全体における連携。

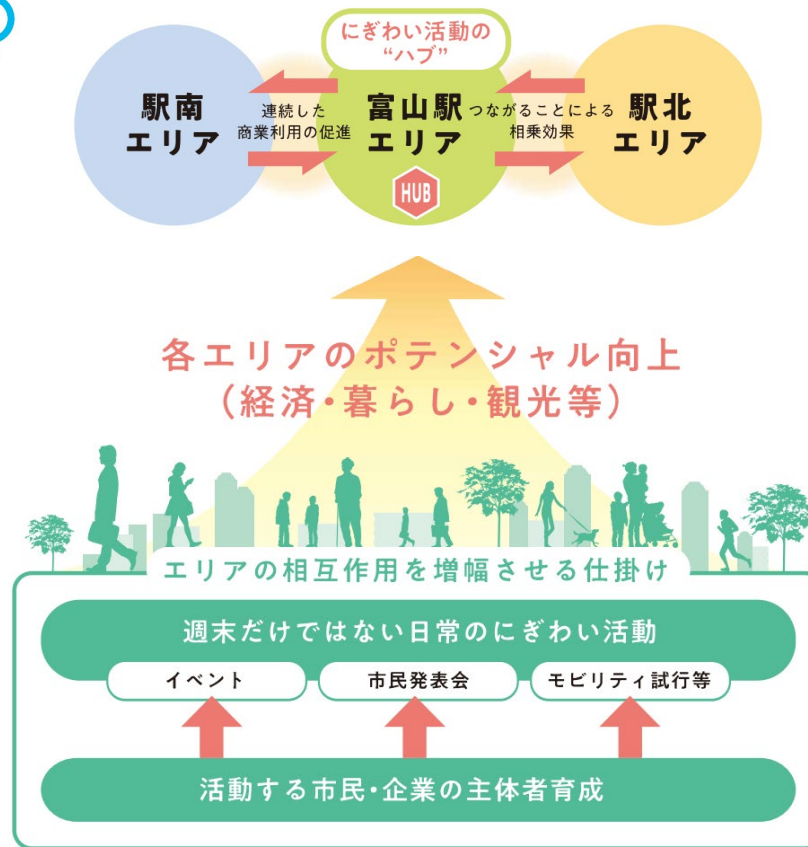


つなぐ、むすぶ

まちはいきもの。すべては走り出している。
つなぐ、むすぶ。この未来ビジョンに終わりは無い。
「つなぐ、むすぶ」ために、みんなでまざり、えがき、めざめよう。

未来ビジョン:トヤマチミライ

【 目指す姿 】



プラットフォームの主な役割

- ◎情報共有・発信
- ◎駅周辺イベントとの連携・調整
- ◎データ収集
- ◎ポータルサイト開設運営
- ◎公共交通・民間企業の連携・調整
- ◎投資意欲の醸成

未来ビジョン:トヤマチミライ 【 目指す姿 】



プラットフォームの主な役割

- ◎情報共有・発信
- ◎駅周辺イベントとの連携・調整
- ◎データ収集
- ◎ポータルサイト開設運営
- ◎公共交通・民間企業の連携・調整
- ◎投資意欲の醸成

本勉強会では

週末だけじゃない
日常のにぎわい活動
を目指し
データも活用した

まちづくりを
市民・企業が主体者
となって考えます

取り組み範囲

にぎわい



データ活用

にぎわい関連の主なデータ

- ・人流データ
- ・決済データ
- ・交通・インフラデータ
- ・各種サービスの
利用データ

取り組み範囲

にぎわい



データ活用

にぎわい関連の主なデータ

- 人流データ
- 決済データ
- 交通・イン
- 各種サー
- 利用デー

賑わいづくりの指標
活用データ



まずはじめに…

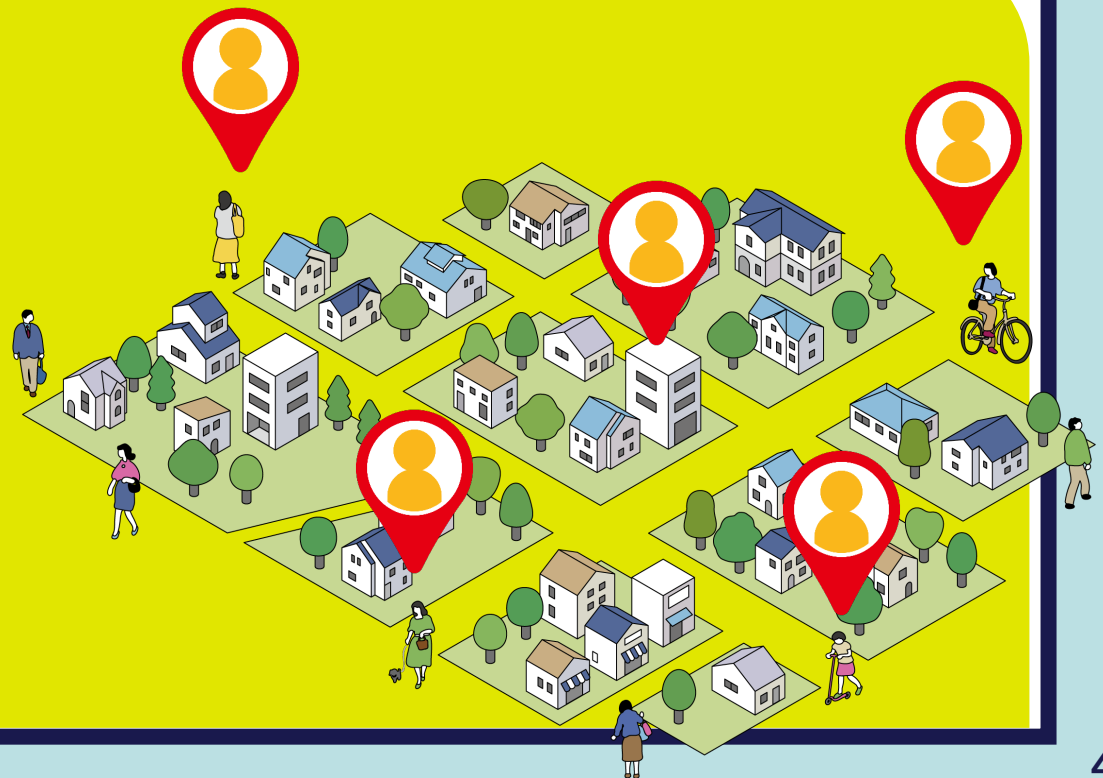
人流データ

…って何だろう？

まずはじめに…

人流データ とは…

「人」の動きを
データ化し、
可視化したもの。

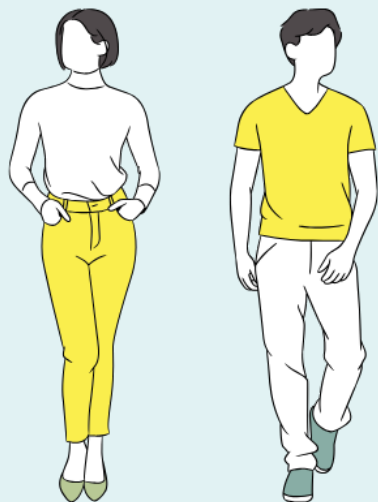


人流データ

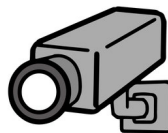
は、GPSやWifi、カメラやセンサーから取得。

人数 計測

映像や赤外線等により人の数を直接カウント。
実数を把握可能だが、広域・前後行動の捕捉が困難。



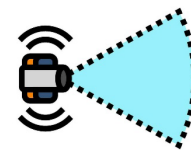
富山市で
利用中



AIカメラ



赤外線センサー



LiDAR(ライダー)

人流データ

は、GPSやWifi、カメラやセンサーから取得。

スマホ端末数 計測



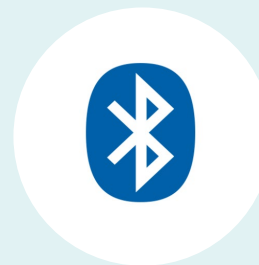
スマホに搭載されたセンサー等を活用し機器数をカウント。
基地局以外はIDに紐づき人の移動を捕捉可能。



基地局



WiFi



Bluetooth
(Beacon)



GPS

富山市で
利用中

人流データ

は、GPSやWifi、カメラやセンサーから取得。

スマホ端末数 計測【アプリによる位置情報提供】

例



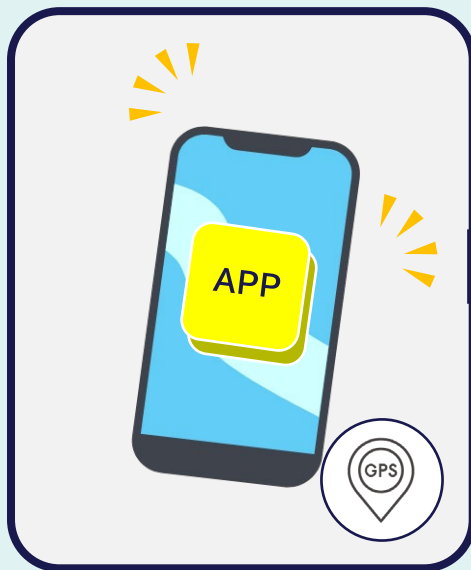
- ・ニュースアプリ
- ・レシピアプリ
- ・チラシアプリ
- ・銀行アプリ
- ・天気アプリ
- ・無料WiFiアプリ
- ・会員証アプリ
- ・防災アプリ

各種アプリに位置情報技術を提供し、ユーザ同意の下でリアル行動データ蓄積と情報配信を実施。

人流データとは？

取得した位置情報データから、
推測される行動履歴やユーザー特性に変換。

位置情報データ取得



生ログデータを加工



ID	1000
緯度	35.64165
経度	139.575685
時間	2023/6/13 10:01:59 ⋮

加工データから推計



ID

時間

- ・20代女性
- ・6月13日10～11時の間
- ・渋谷駅から徒歩で
渋谷パルコに移動

緯度
経度

人流データとは？

取得した位置情報データから、
推測される行動履歴やユーザー特性に変換。

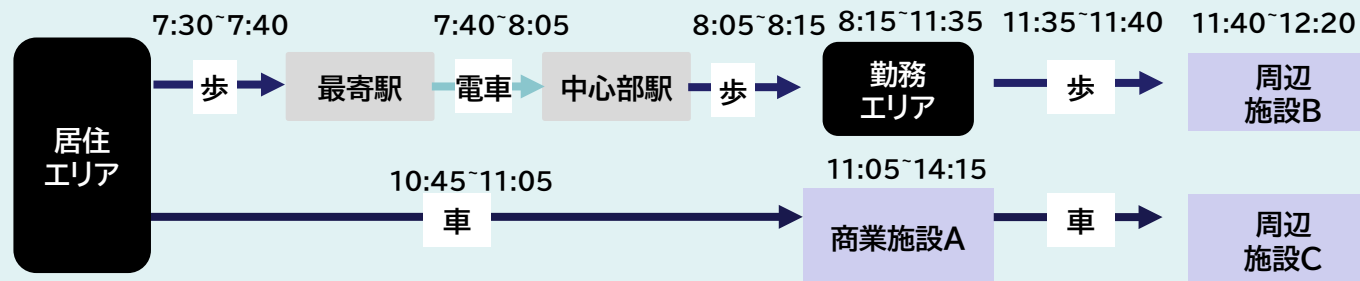
生ログ

ID	緯度	経度	時間
1000	35.64163	139.575683	2023/6/13 10:01:34
1000	35.64165	139.575685	2023/6/13 10:01:59
⋮	⋮	⋮	⋮

各種加工
・推計後

ID:1000 ⇒ 40代・男性、居住エリア:XXXX、勤務エリア:XXXX

■行動履歴データ

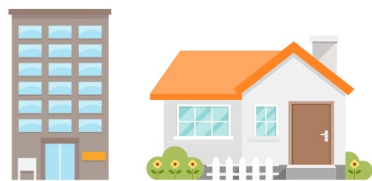


■行動DNAデータ

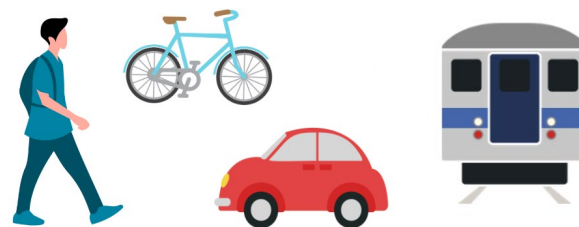
人流データとは？

行動履歴やユーザー特性は、
以下のような項目が分析可能。

例



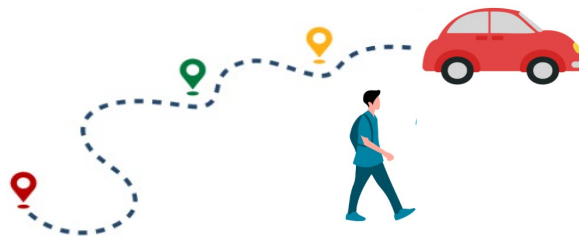
勤務地・居住地



移動手段



属性（年代・性別）



移動経路

人流データとは？

人流データを活用する**目的**
＝「**解決したいこと**」「(施策を実施し)**検証したいこと**」

データで可視化する例

分析したい**場所**

- ・商店街
- ・公園
- ・駅
- ・公園
- ・ショッピングモール
- ・病院



分析したい**内容**

- ・滞在人数
- ・滞在時間
- ・勤務地/居住地
- ・移動手段
- ・エリア間回遊
- ・属性(年代/性別)



比較する**切り口**

- 時間軸
 - ・月別/週別/日別
 - ・平日/休日/曜日
 - ・時間/分/秒
- 各分析軸別の比較
(例: 移動手段のうち、
車/電車/徒歩いずれか、など)



ここからが本題です…

富山市での活用事例から 人流データを理解する

これまでの富山市で取り組んできた
まちづくりの観点で人流データを活かせること

1

イベントの分析
(来訪者数・属性)

- ・どれくらい人が来訪したか？
- ・どんな人が来訪したか？

2

にぎわい分析
(滞在時間・滞在人数)

- ・どれくらい滞在したか？
- ・何時間滞在したか？

3

回遊/波及効果
(ウォーカブル)

- ・近隣施設にも回遊したか？
- ・どの施設を回遊したか？

4

商圈分析
(居住地・勤務地・移動手段)

- ・どこから来訪したか？
- ・どうやって来訪したか？

人流データの分析例(富山市)

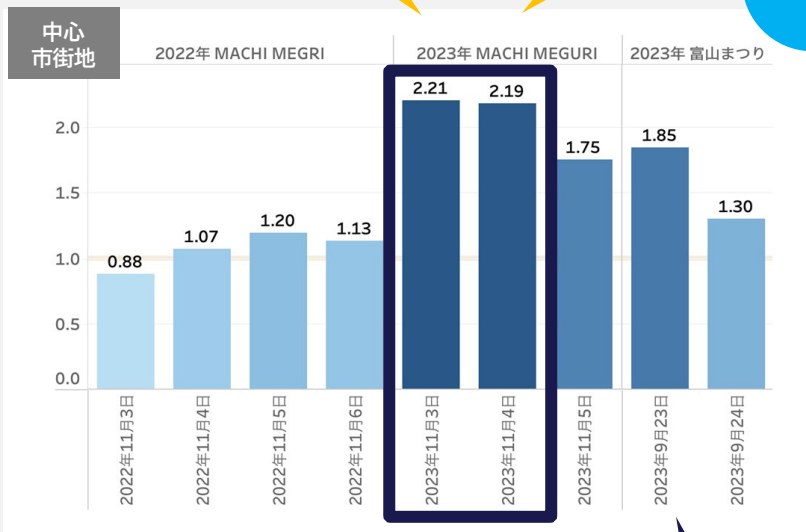
2023/2024 MACHIMEGURI
から見る人流データ

1

イベントの分析 (来訪者数・属性)

- ・どれくらい人が来訪したか？
- ・どんな人が来訪したか？

来訪人数



※来訪人数は相対比較で計上
※各スポットにおいて、2022年 普段の週末の平均を1として計算

他のイベントと比べて、
2023 MACHIMEGURI の来訪者数が最も多い

来訪人数

イベント会場の
城址公園では
来訪者が
大きく増加

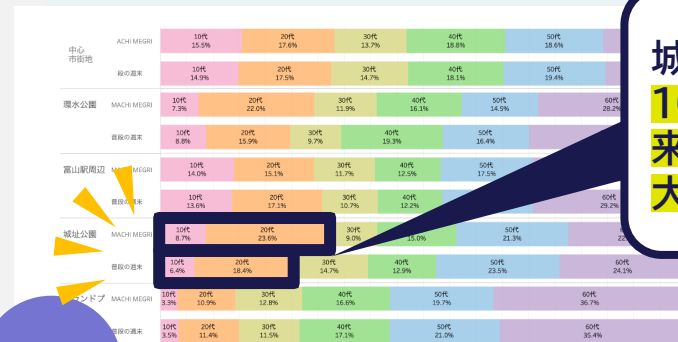
城址公園



2022

※来訪人数は相対比較で計上
※普段の週末の平均を1として計算

来訪者の属性(年代)



城址公園への
10代・20代の
来訪が
大きく増加

2022

※ 中心市街地以外のスポットについては対象地点の居住者・勤務者は除く

人流データの分析例(富山市)

2023/2024 MACHIMEGURI
から見る人流データ

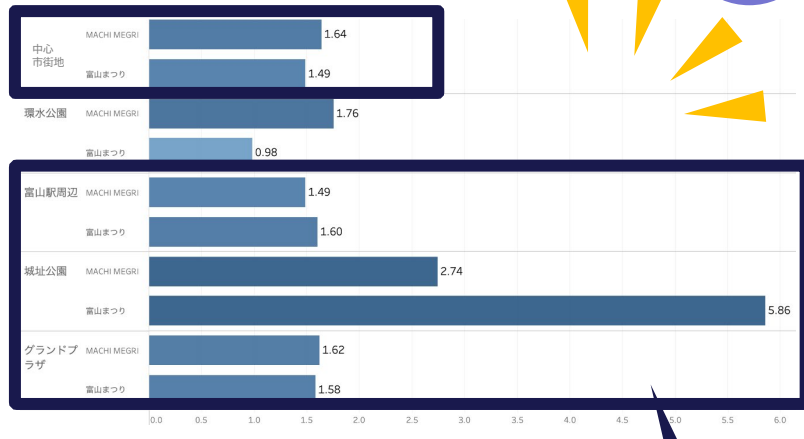
2

にぎわい分析
(滞在時間・滞在人数)

- ・どれくらい滞在したか？
- ・何時間滞在したか？

主要スポットの 滞在時間

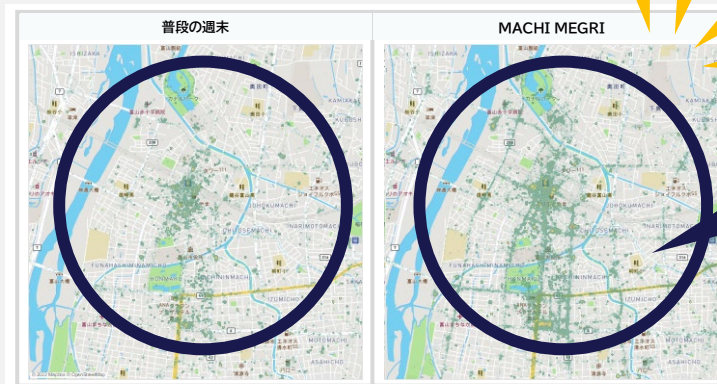
2022



※人・日ごとの滞在時間の積み上げ
※来訪人数は相対比較で計上
※ 各スポットにおいて、2022年 普段の週末の平均を1として計算

富山まつり期間の環水公園を除き、
およそ **1.5倍以上 滞在時間が増加**

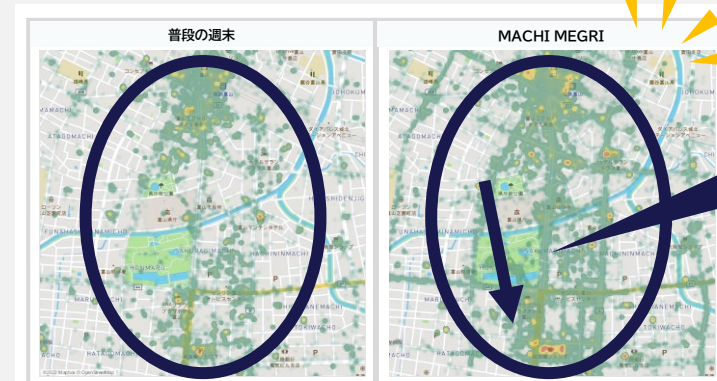
中心市街地 ヒートマップ【広域】



駅周辺・環水公園・
グランドプラザ・
城址大通りの
滞在が多い

2022

中心市街地 ヒートマップ【狭域】



城址公園を
挟んで
西側に
移動が増加

2022

※居住地・勤務地から100mの範囲のログは非表示 ※ 対象日数を揃えるため、普段の週末は 2022年10月15日(土)、16日(日)、22日(土)、23日(日)のデータ ※ 11月6日に環水公園を訪れている人を富山マラソン参加者として除外

人流データの分析例(富山市)

2023/2024 MACHIMEGURI
から見る人流データ

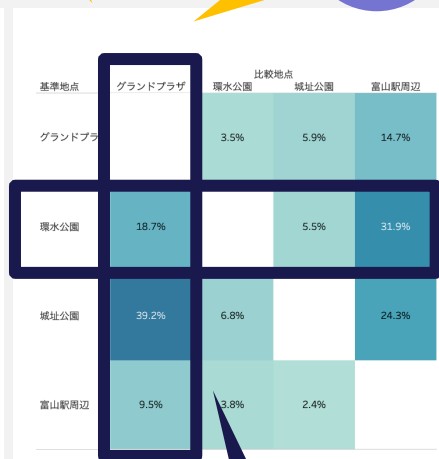
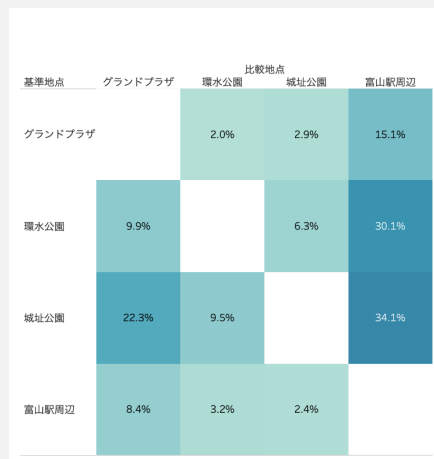
3

回遊/波及効果 (ウォーカブル)

- ・近隣施設にも回遊したか？
- ・どの施設を回遊したか？

主要スポット間の 回遊率

2022



※ 基準地点来訪者のうち、来訪同日に比較地点を訪れている人の割合
※ 対象地点の居住者・勤務者は除く

グランドプラザ周辺への回遊が増加。
さらに、環水公園を訪れた人は、普段よりも回遊率UP

主要スポット間の 回遊率

2023

	グランドプラザ	環水公園	城址公園	富山駅周辺	プールパール
グランドプラザ					
2022年 MACHI MEGURI		4%	9%	19%	2%
2023年 MACHI MEGURI		4%	6%	18%	1%
2023年 富山まつり		3%	27%	17%	0%
2023年 普段の休日		3%	5%	17%	0%
環水公園					
2022年 MACHI MEGURI	19%		7%	36%	7%
2023年 MACHI MEGURI	11%		4%	34%	5%
2023年 富山まつり	13%		11%	34%	2%
2023年 普段の休日	11%		6%	33%	2%
城址公園					
2022年 MACHI MEGURI	43%	8%		35%	3%
2023年 MACHI MEGURI	26%	7%		38%	2%
2023年 富山まつり	22%			36%	1%
2023年 普段の休日	25%	7%		34%	1%
富山駅周辺					
2022年 MACHI MEGURI	11%	5%	4%		3%
2023年 MACHI MEGURI	8%	5%	3%		3%
2023年 富山まつり	7%	3%	19%		1%
2023年 普段の休日	8%	4%	3%		1%
プールパール					
2022年 MACHI MEGURI	19%	16%	7%	53%	
2023年 MACHI MEGURI	7%	11%	4%	48%	
2023年 富山まつり	9%	8%	22%	44%	
2023年 普段の休日	7%	7%	3%	45%	

城址公園を訪れた人は、
グランドプラザ(総曲輪の商店街)への回遊率が高い

3

回遊/波及効果
(ウォーカブル)

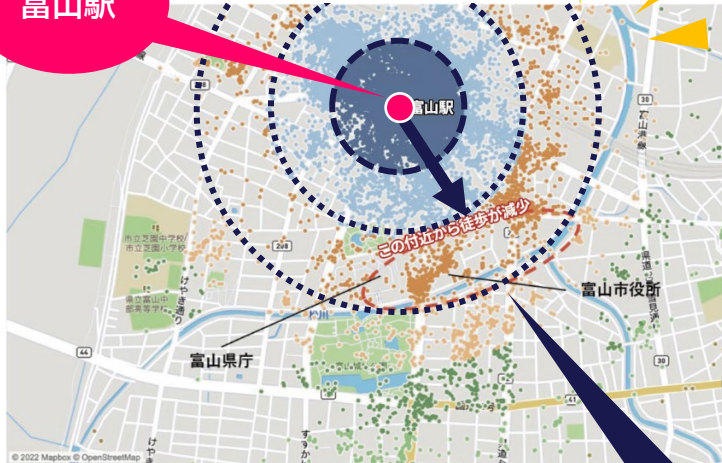
どこまで歩いて移動しているか？

ウォーカブル

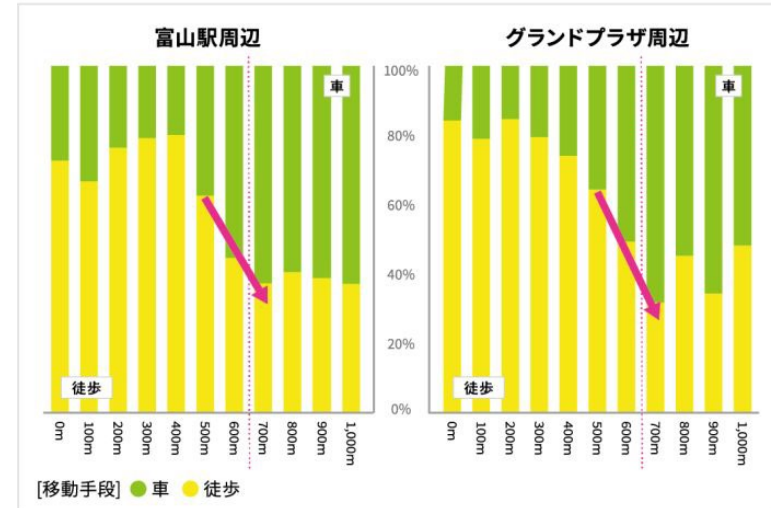
[対象施設からの距離] ●200m ●400m ●600m ●800m ●1,000m ●1,200m ●1,400m ●1,600m ●1,800m ●2,000m ●2,000m over

富山駅

富山駅周辺来訪後の徒歩移動



●スポット来訪後の移動距離別の交通手段割合



2021

富山駅から600mあたりで徒歩移動が減少する

人流データの分析例(富山市)

2023/2024 MACHIMEGURI
から見る人流データ

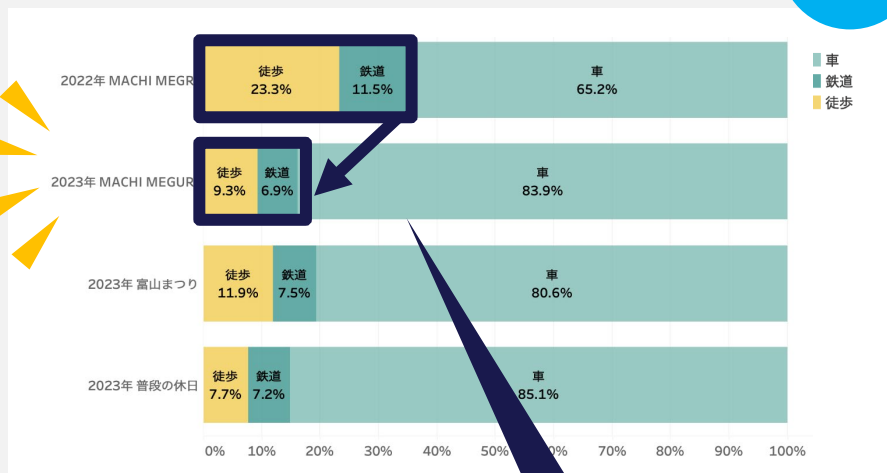
4

商圈分析 (居住地・勤務地・移動手段)

- ・どこから来訪したか？
- ・どうやって来訪したか？

中心市街地来訪時の 移動手段分布

2023

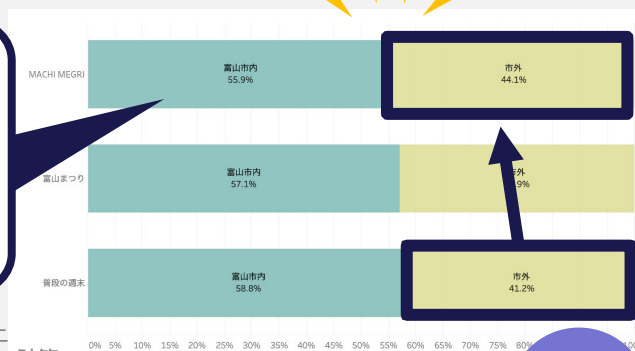


※ 来訪前60分の移動データより交通手段を判定
※ 中心市街地の居住者・勤務者は除く

昨年のイベントと比較して、
車での来訪が増↑、鉄道での来訪が減↓

居住地分布【市内/市外割合】

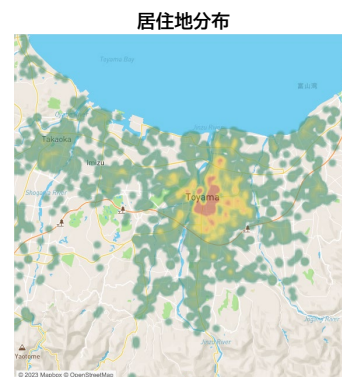
市外からの
来訪が増加



※来訪人数は相对比较で計上
※普段の週末の平均を1として計算

2022

居住地分布



居住地ランキング

MACHI MEGURI 普段の週末

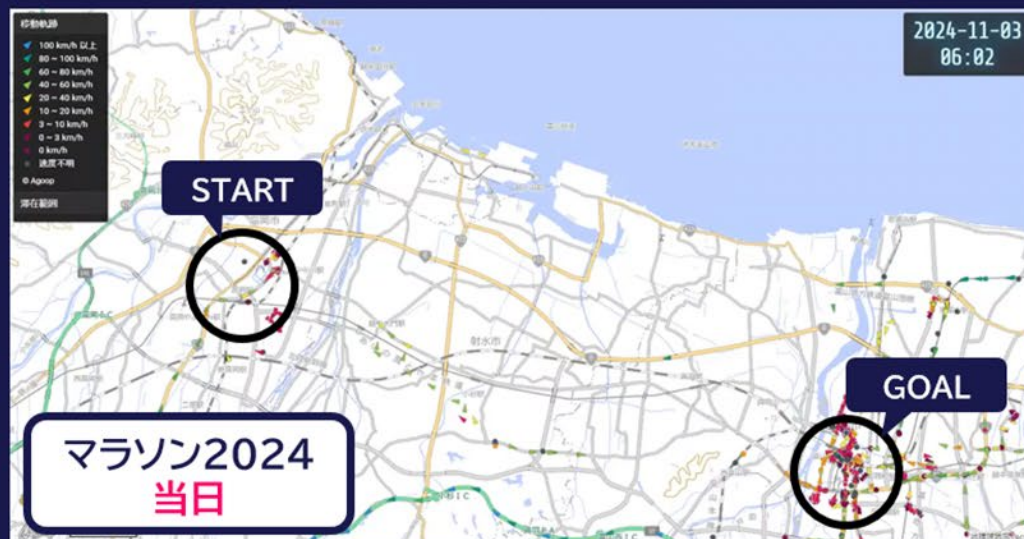
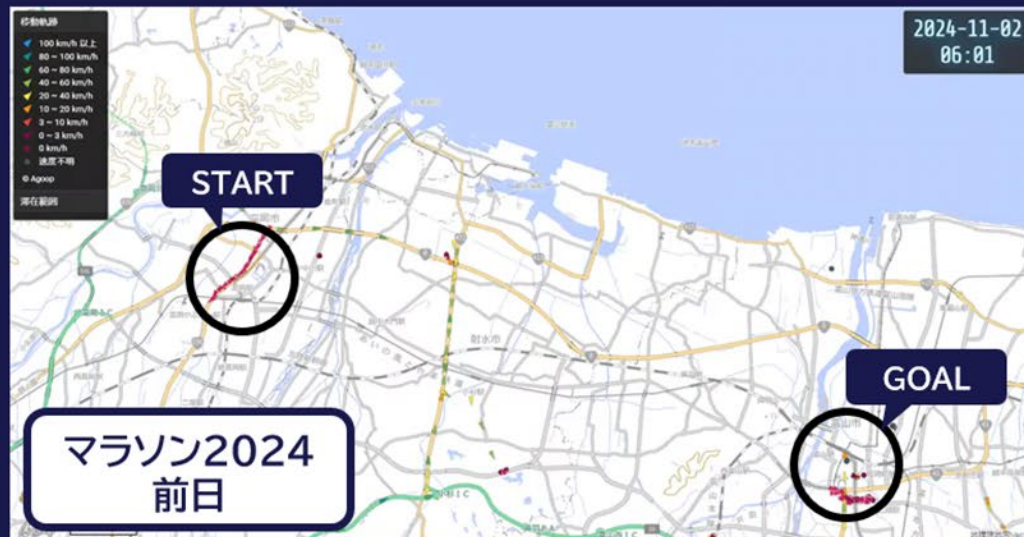
2022

高岡市、射水市など
**隣接市からの
来訪UP**

人流データの分析例(富山市)

イベント時の 移動経路 ①

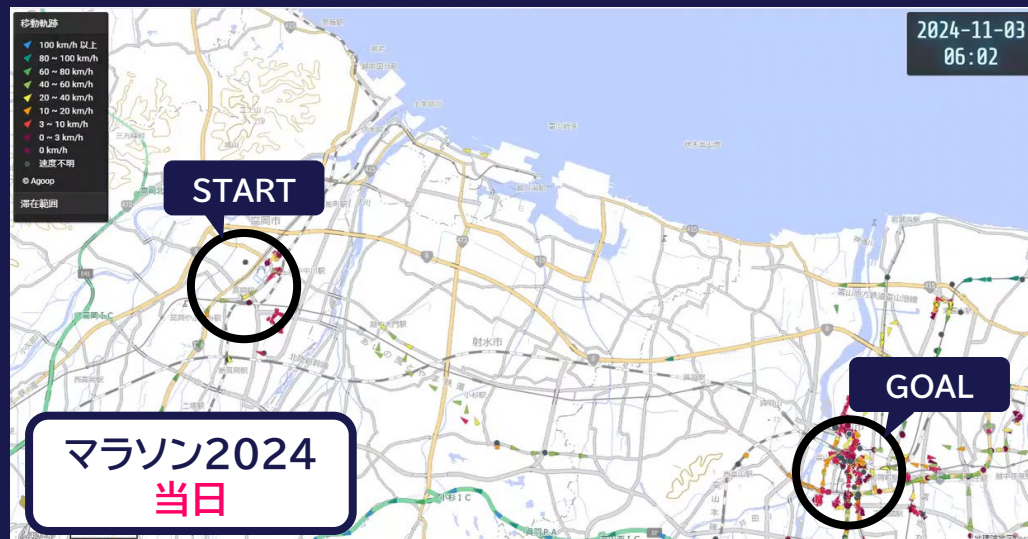
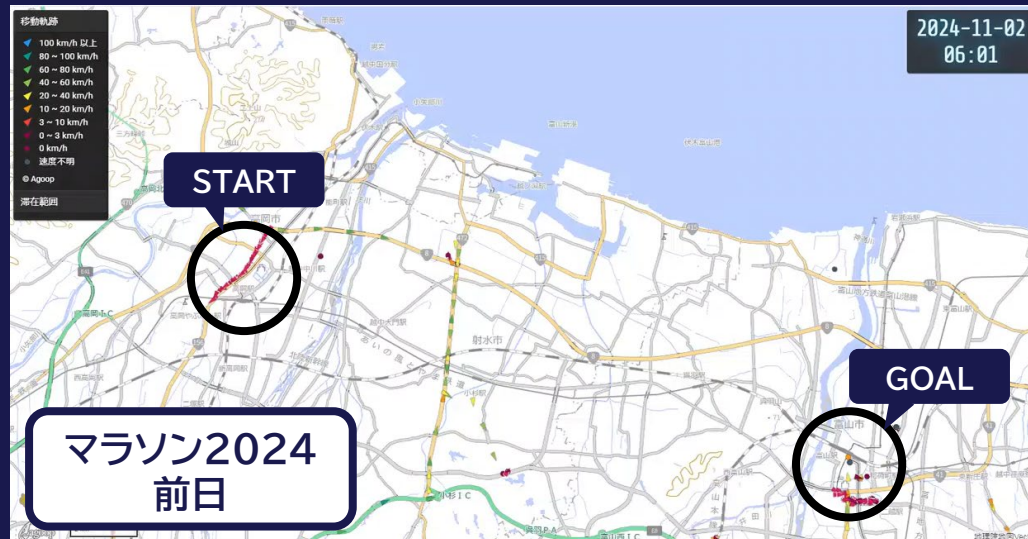
■ 富山マラソン2024



人流データの分析例(富山市)

イベント時の 移動経路 ①

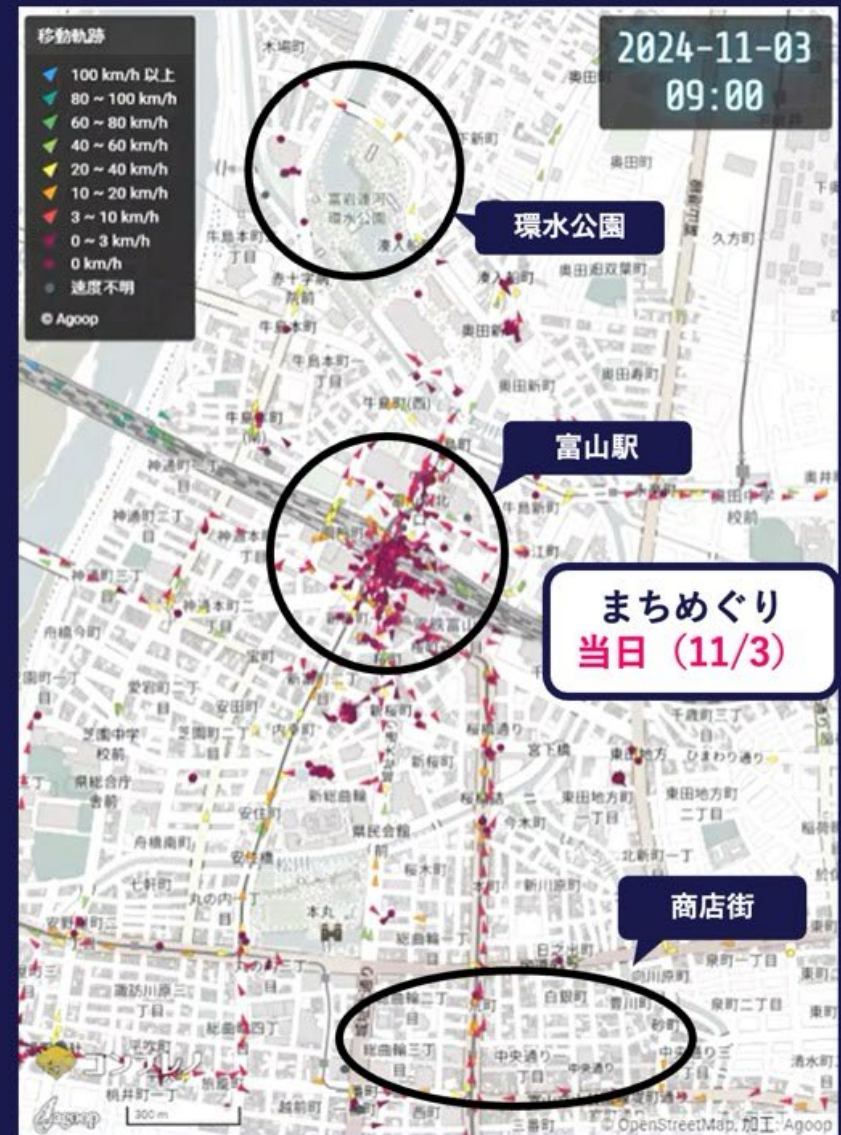
■ 富山マラソン2024



人流データの分析例(富山市)

イベント時の 移動経路 ②

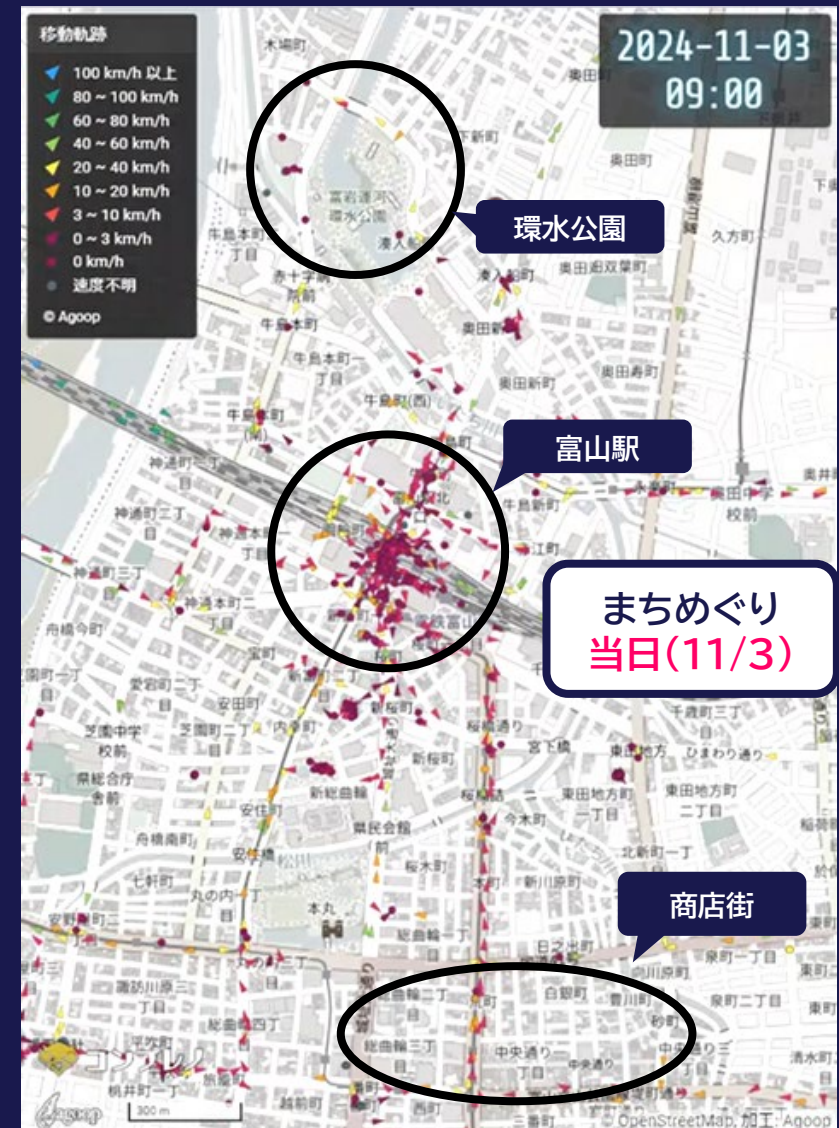
■ 富山まちめぐり 2024



人流データの分析例(富山市)

イベント時の 移動経路 ②

■ 富山まちめぐり 2024



これまでの富山市の人流データ活用の要点

- ✓ 2000年から、環境省と脱炭素まちづくりを目指す人流データの活用を試行
- ✓ 富山駅前と総曲輪エリアで600mを境に徒歩よりも車での移動が多くなる
- ✓ MACHIMEGURIのイベントを対象に2022年・2023年、人流データで検証
- ✓ イベントを開催することで、富山市中心部の人流は増加する
- ✓ イベント時、来訪時の移動手段や回遊エリアに変化が起こる(起こせる)
- ✓ 来訪者人数×滞在時間から、総滞在時間というにぎわいを評価する指標も検討

議論したこと

イベント単体で終わらせることなく、恒常的な取り組みでさらに人流を増やせるまちづくり活動にデータも活用していく

第1回

人流データについて学ぶ

人流データ(も活用して)で、
どんな **まちづくり** を目指す？

健康

経済

環境

市役所

エリマネ・企業

商店街・地域

若者・JC

A colorful illustration at the top of the page depicts a community scene. On the left, there is a school building with a flagpole and a bus. In the center, a green bus is driving on a road. To the right, a white van is parked. Several stylized figures of people are scattered throughout the scene, some standing and some walking. The background features rolling hills in shades of blue and green.

ご清聴
ありがとうございました